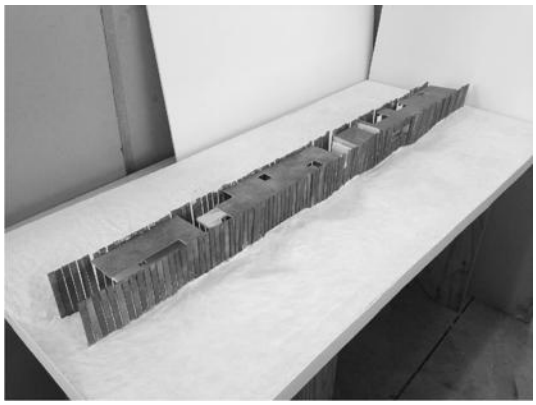
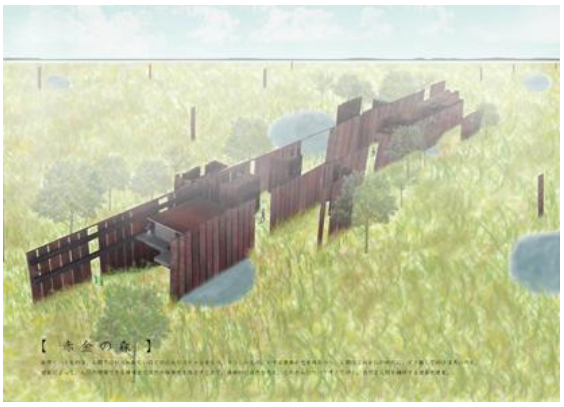
銅賞　井上　桂輔君

北海道大学工学部環境社会工学科建築都市コース　　「赤金の森」

渡良瀬遊水池に生まれた自然を再発見するための、「装置」としての建築の提案である。敷地の持つ歴史と、その結果生まれた独自の湿原環境を丁寧に調査したうえで設計に取り組む姿勢を評価した。また、それらを可視化する水位計を備えた銅柱を配置するという提案に、構造や設備、素材への幅広い建築的視点を感じた。 一方で、描かれた建築自体にどこか既視感を感じる。形態について別の解法があり得たのではないか。更なる造形的な展開に期待出来る作品である。 以上を総合的に考慮して銅賞にふさわしい作品であると判断した。

（文責：小倉　征寛）